

# http://www 新型インフルエンザ ニュースレター@青森県

Pandemic Flu Newsletter @Aomori Pref

## 新型インフルエンザ関連情報をお届けする、ニュースレター

新型インフルエンザ(A/H1N1)は、2011年4月1日から通常の季節性インフルエンザに変わりました。

現在は、「平時」(新型インフルエンザが発生していない状態)です。

<p>発行日 Newsletter Date 2011年10月25日</p>	<p><b>Front Page</b> 『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』創刊！</p>
<p><b>目次 Inside This Issue</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』創刊！</li> <li>2 青森県新型インフルエンザ対策行動マニュアルを策定</li> <li>3 ブタ由来インフルエンザA(H3N2)感染症例の発生(米国)</li> <li>4 鳥インフルエンザなどの発生情報</li> <li>5 編集後記</li> </ol>	<p>こんにちは、青森県保健衛生課です。</p> <p>本日、県民の皆様へ、新型インフルエンザの関連情報をお届けするニュースレター『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』を創刊しました。</p> <p>ぜひ、平時での新型インフルエンザ対策のほか、通常の季節性インフルエンザ対策にもお役立てください。</p> <p>『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』は今後、新たな「新型インフルエンザ」発生などの緊急時に、青森県から県民の皆様へ直接かつ迅速に情報を提供する「緊急連絡」の役割も果たします。</p> <p>平時においてはもちろん、有事の際の円滑な情報収集と共有の一助としていただければ幸いです。</p>
	<p><b>Information</b> 青森県新型インフルエンザ対策行動マニュアル【医療提供版】策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 青森県新型インフルエンザ対策行動計画(平成23年4月改定)を具体化するための個別の対策は「新型インフルエンザ対策行動マニュアル」等で定めることにしています。             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ マニュアルについては、危機管理体制や公衆衛生対策等について定める【社会対応版】と、医療提供体制等について定める【医療提供版】の2つで構成する予定です。</li> </ul> </li> <li>○ マニュアルのうち、今般、【医療提供版】を策定しました。             <p style="text-align: right;">【青森県庁「インフルエンザ対策」】 <a href="http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/pandemic_flu_action.html">http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/pandemic_flu_action.html</a></p> </li> <li>○ また、マニュアル【医療提供版】に基づく対応を確実にを行うため、今後、各種の実施要領を策定し、その詳細を定めていく予定です。</li> </ul>
	<p><b>国では、新型インフルエンザ対策行動計画を改定</b></p> <p>9月20日、国の新型インフルエンザ対策行動計画が改定されました。</p> <p style="text-align: right;">【内閣官房「新型インフルエンザ対策」】 <a href="http://www.cas.go.jp/jp/influenza/index.html">http://www.cas.go.jp/jp/influenza/index.html</a></p>

**速報****ブタ由来インフルエンザ A (H3N2) 感染症例の発生 (米国)**

米国疾病管理センター (米国 CDC) は、10月21日、米国メイン州でインフルエンザに罹患した男児からブタ由来の H3N2 ウイルスを同定した、と発表しました。

- 患者等に関する情報は、次のとおりです。
  - 10月初めにインフルエンザ様症状 (発熱、咳、のどの痛み、筋肉痛など) を呈し、抗インフルエンザ薬治療を受け、現在は回復。また、患者は発症前にブタ等が展示された農業イベントに参加。
  - 家族など、患者に濃厚接触した者への感染は確認されていない。
- 今年9月、インディアナ州で1例、同ペンシルバニア州で3例、それぞれブタ由来の H3N2 ウイルスに感染した患者が報告されています。
  - インディアナ、ペンシルバニア、メインの各州で発生したこれらの患者の間には、疫学的な関連はありません。

【米国 CDC オンラインニュースルーム】

[http://www.cdc.gov/media/haveyouheard/stories/H3N2\\_virus.html](http://www.cdc.gov/media/haveyouheard/stories/H3N2_virus.html)

**2005 年以降、米国で報告されたブタ由来インフルエンザの感染症例**

- **米国では、2005 年以降、ブタ由来インフルエンザの感染症例が 26 例報告されています。(2011 年 10 月 14 日現在)**

この 26 例のうち、12 例はリアソータント\*H1N1 ウイルスの感染例、1 例はリアソータント H1N2 ウイルスの感染例、残りの 13 例はリアソータント H3N2 ウイルスの感染例であり、26 例すべて回復しています。

(※「リアソータント reassortant」とは、異なるウイルスの間で遺伝子の一部が入れ替わることを意味します。また、「再集合」と訳されることもあります。)

また、26 例の年齢構成や感染源等に関する情報は次のとおりです。

- 19 例は 18 歳以下の児童で、7 例は成人
- 22 例は、発症前にブタへの直接又は間接的な接触がある
- 感染者への濃厚接触によってウイルスが伝播した可能性が確認されているが、継続的なヒト-ヒト感染はない

【米国 CDC 季節性インフルエンザ】

[http://www.cdc.gov/flu/swineflu/soiv\\_cases.htm](http://www.cdc.gov/flu/swineflu/soiv_cases.htm)

- なお、米国では、2005 年以降、ブタ由来の H3N2 ウイルスは 13 人から同定されていますが、そのうち今回確認された 5 人から同定されたブタ由来の H3N2 ウイルスは、ウイルスの 8 つの遺伝子のうち 1 つ (マトリックス遺伝子) が、ヒトで流行したインフルエンザ (H1N1) 2009 の遺伝子に由来している点で特異的となっています。このため、インフルエンザ (H1N1) 2009 と、従来のブタ由来インフルエンザ H3N2 のウイルスが、ブタに同時感染し、「リアソータント」となったものと考えられています。

ブタ由来インフルエンザ A (H3N2) 感染症例数 (2005 年以前)

年	症例数	場所
1992	1	オランダ
1993	1	オランダ
1999	1	香港
2005	1	カナダ

米国でのブタ由来インフルエンザ A (H3N2) 感染症例数 (2005 年以降)

年	症例数
2009	2
2010	5
2011	6

## News

## 鳥インフルエンザなどの発生情報

WHO が確認した鳥インフルエンザ A (H5N1) 感染症例 (2003 年～2011 年 10 月 10 日)

確定症例	566 人
うち死亡例	332 人
致死率	58.7%

## 鳥インフルエンザ A (H5N1) のヒトへの感染症例

○ インドネシア保健省は、10 月 10 日、鳥インフルエンザ A (H5N1) の新たな 1 例の確定症例を発表しました。患者等に関する情報は次のとおりです。

- ・ この症例は西ジャカルタ地区の 1 歳の女兒で、8 月 8 日に発症、8 月 25 日に死亡。
- ・ その家族の 1 人は仕出し屋をしており、と殺を含む鶏の調理を頻繁に行っている。近所にも家禽はいたが、この 14 日間内に死亡した鶏の報告はなかった。

▶ インドネシアでは、179 例の確定患者が発生し、うち 147 例が死亡。

【WHO 鳥インフルエンザ】

[http://www.who.int/csr/don/2011\\_10\\_10/en/index.html](http://www.who.int/csr/don/2011_10_10/en/index.html)

○ 鳥インフルエンザ (A/H5N1) ウイルスが再出現した 2003 年以降、2011 年 10 月 10 日までに、WHO に報告された鳥インフルエンザ (A/H5N1) 確定症例の累計数は 566 人となっています。そのうち 332 人が死亡しています。(致死率は 58.7%)

▶ 鳥インフルエンザ (A/H5N1) 感染症例では、これまでのところ、限定的なヒト-ヒト感染のみが確認され、地域感染は確認されていません。

【WHO ヒトの高病原性鳥インフルエンザ (A/H5N1) 感染確定症例数】

[http://www.who.int/influenza/human\\_animal\\_interface/H5N1\\_cumulative\\_table\\_archives/en/index.html](http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/H5N1_cumulative_table_archives/en/index.html)

○ インドネシアでは、上記の感染症例のほかに、地元メティアなどが次のような報道をしています。

- ・ 同国バリにある病院では、10 月 9 日に 10 歳の男児とその 5 歳の妹が死亡しており、同病院でこれらの患者から採取した検体を検査したところ、H5N1 ウイルス陽性結果となりました。このため、インドネシア保健省等が確認検査を急いでいます。同病院当局者は、2 人とも、死亡した鶏への直接接触があったと発表しています。
- ・ 死亡した兄妹の母親は発熱を呈し病院で治療を受けた 2 日後に自宅で死亡。血液検査では H5N1 ウイルス陰性結果でしたが、公衆衛生当局は H5N1 ウイルスに感染した可能性があるとしています。
- ・ 母親が死亡した原因は確認されていないものの、家族内感染クラスター (感染集団) の発生は、H5N1 ウイルスがヒト-ヒト感染を起こす可能性を高めるものと懸念しています。

【ジャカルタグローブ 2011 年 10 月 10 日】

<http://www.thejakartaglobe.com/home/bird-flu-claims-lives-of-two-children-in-bali/470672>

【バード・フルー・インフォメーション・コーナー 2011 年 10 月 17 日】

<http://birdflucorner.wordpress.com/2011/10/17/bangli-bali-the-mother-of-two-h5n1-victims-dies/>

鳥インフルエンザ A (H9N2) 感染症例の報告数

年	症例数	場所
1999	2	香港
2003	1	香港
2007	1	中国
2008	1	中国
2009	2	香港
2011	1	バングラディッシュ

### 鳥インフルエンザ A (H9N2) のヒトへの感染症例

○ 2011年2月16日から9月19日までに、バングラディッシュで、鳥インフルエンザ A (H9N2) の新たな1例のヒトへの感染症例がありました。

▶ このウイルスは、抗原的にも遺伝的にも、同国の鶏において循環しているウイルスに類似しているものでした。

【WHO 2011年9月29日「インフルエンザの抗原・遺伝子的特徴とパンデミック対策のワクチン候補株の開発」】

[http://www.who.int/influenza/resources/documents/2011\\_09\\_h5\\_h9\\_vaccinevirusupdate.pdf](http://www.who.int/influenza/resources/documents/2011_09_h5_h9_vaccinevirusupdate.pdf)

○ 鳥インフルエンザ A (H9N2) ウイルスは、低病原性鳥インフルエンザ株のみが知られており、アジア、中東、欧州、アフリカの各種の鳥類から同定されています。

▶ このウイルスは、稀にヒトへの感染を起こしています。

▶ しかし、最近の報告では、このウイルスは、従来考えられていたよりも、ヒトへ感染しやすいことが示唆されています。

また、このウイルスは、進化や再集合を遂げながら、将来的にヒトを含む哺乳類への効率的な感染をする能力を獲得する可能性が示唆されています。

### 編集後記



米国 CDC のゾンビサイト



米国 CDC のゾンビパンデミック

### 米国 CDC の取組：ゾンビ登場の短編小説で、危機対応への準備を推進

米国 CDC は、今年5月、ハリケーンシーズンの始まりにあわせ、“Zombie Apocalypse” (ゾンビの黙示録) というサイトを立ち上げ、若者やソーシャルメディアの活用者を対象に、ハリケーンや新型インフルエンザを含む公衆衛生上の危機への対策や対応への準備の大切さを啓発する取組をおこなっています。

また、今月(10月)、このサイト上に、ゾンビが登場する短編小説“Preparedness 101: Zombie Pandemic” (ゾンビのパンデミック) を掲載し、楽しみつつ実生活でのあらゆる危険への準備状況を確認するチェックリストの役割も持たせています。一見の価値があります。

【米国 CDC “Zombie Novella”】

[http://www.cdc.gov/phpr/zombies\\_novella.htm](http://www.cdc.gov/phpr/zombies_novella.htm)

発行：青森県健康福祉部保健衛生課

030-8570 青森県青森市長島 1-1-1

Phone:

017-734-9284

Fax:

017-734-8047

E-mail:

[hoken@pref.aomori.lg.jp](mailto:hoken@pref.aomori.lg.jp)

URL:

[http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/pandemic\\_flu\\_action.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/pandemic_flu_action.html)